

ハタラクエール2020

優良福利厚生法人・部門

現状把握部門受賞

キュービーネット株式会社



2020年6月、福利厚生法人表彰・認証制度「ハタラクエール2020」の受賞企業が発表された。

本連載では、ハタラクエール2020受賞法人に、福利厚生への取り組み、力を入れている点、思いを聞く。

キュービーネット株式会社

～社員の思いを把握し、福利厚生を充実～

キュービーネット株式会社（以下「同社」）は、優良福利厚生法人の現状把握部門賞に選ばれ、表彰された。同社事業推進室の平山貴之さんにお話を伺った。同社は、ヘアカット専門店（理容室および美容室）のQBハウスを運営している。

受賞のポイント

福利厚生表彰・認証制度の審査においては、6つの評価軸でスコア化されたが、同社は特に②現状把握の軸が高く評価された（図表1）。

福利厚生の実施目的、経営者・担当者の思い

同社では、「人がすべてのサービス」と捉えており、社員に対する福利厚生や研修制度は業界トップクラスであるべきとしている。

580店舗を全国に配置していることもあり、託児所や社員食堂の設置が困難なことから、エリアによる不公平感がないよう、福利厚生のパッケージサービスを導入した。

「上長が常に部下の面倒をとことんみる社風が根付き、平均離職率30%といわれる理美容業界において、直近では6.6%台となっています」と平山さん。

長く勤める従業員も多く、本年までの累計で、勤続20年39名、勤続10年711名が表彰を受けた。

キュービーネット株式会社概要（2020年6月末現在）

業種	サービス業	
事業概要	理美容サービス	
属性別従業員数	正規従業員	1,762人
	非正規従業員	407人
非正規社員の割合	18.7%	
男女比	6:4	
平均勤続年数	4年1カ月	
平均年齢	41歳	
多い職種	美容師、理容師、総合職	

図表1 ハタラクエールの審査6項目で高評価だった項目

評価軸	評価内容
②現状把握	福利厚生の目的をどう位置付け、その目的に対して福利厚生がどれだけ効果を発揮しているかを把握しているか、把握の方法論はどうしているか

20～76歳の幅広い年齢層の社員にとってメリットを感じる仕組み・制度とは何かを常に考えてきた。福利厚生パッケージの導入のほか、社員満足度調査で要望のあった研修や講義の聴講をトップダウンで積極的に実施し、社内イベントや集合研修を進めてきた。その結果、極めて定着率の良い組織となった。

「離職率低下・高い定着率といった一連の取り組みについては、テレビでも頻繁に取り上げていただけており、多くの賞もいただく結果につながっています」と平山さん。

福利厚生制度の目的効果を幅広く把握

同社の特徴は、福利厚生の目的を幅広く捉え、制度導入の効果をしっかりと把握し、業界内で他に先駆けて種々の制度を導入している点にある。

制度の企画運営に当たり、従業員の声を良く聞くために、社員アンケートを実施。従業員の福利厚生ニーズと効果測定に努めている。具体的には、人事評価のアプリ内のアンケート機能を活用し、

「(コロナ禍の)休業中の会社の対応で良かったことは何か」を質問した。その結果、①パート含め雇用を守り給料を100%補償、②全店休業の決断、③休業明けの危険手当の支給といった回答が全国のスタッフから寄せられた。集計結果はアプリ内ですべて公表する。

社内研修制度 同社では、ロジスカットスクールを運営している。カットに必要な技術を体系的に学ぶことができる。理美容師資格を持っていても、実際にカットを行うまでには、シャンプー、掃除、受付など、2、3年の下積みが必要だとされている。スクールでは、カットをする喜びを味わえるよう6か月間で技術を教え、7か月目からはスタイリストとして活動できるようになる。

12年9月から開始したロジスカットスクールだが、同規模他社で研修を実施している企業はないという。理美容業界にはフランチャイズ店舗が多いが、同社では9割以上が直営店舗であり、統一的な対応が取りやすいという事情もある。

社内イベント 同社を代表するイベントが「全国店長会&カットコンテスト」だ。全国の店舗から代表が集まり、カットの腕を競う。お互いを認め、賞賛し合い、社員満足度が上がるイベントとなっている。

優勝者には、ジュノン・スーパーボーイ・コンテストのスタイリスト権利も付与される。

全国店長会&カットコンテストの入賞者たち

事故・疾病時の休業補償制度 事故や疾病時の有給休暇、慶弔見舞金のほかに、1日3,000円を最長180日まで付与する最近導入した制度。

ひとり暮らしが多い業界では、長期スパンでの金額補償制より、短期の支給を厚くして欲しいと

ロジスカットスクールでの研修



図表2 主な福利厚生制度

福利厚生の領域	実施している施策
住宅	社宅・寮、住宅紹介等
医療・健康	予防接種、法定外の検診、生活習慣改善支援、健康情報の提供、スポーツ施設・フィットネス施設
保険保障	総合福祉団体定期保険、団体障害・医療保険、GLTD、団体介護保険、保険料補助、遺族・遺児育英年金
両立支援	保育関連施設・サービスの費用補助、出産・育児に関する相談窓口、介護相談
生活支援	福利厚生パッケージ ^注 、各種相談窓口、慶弔関連給付、レジャー・旅行、宿泊・保養施設
資産形成	従業員持株会、従業員拠出型企業年金
自己啓発	外部セミナー・研修会、資格取得支援
社内コミュニケーション	クラブ活動、社内イベント・懇親会
その他	特別休暇の付与（自己啓発、慶弔・私傷病、リフレッシュ・永年勤続、アニバーサリー、子育て支援、病气）、事故・疾病時の休業補償

注 福利厚生パッケージを採用している法人については、パッケージ中で提供されているサービスを他の福利厚生制度として掲載している場合がある。

の声が多い。同業他社での導入事例もなかったことから、社員満足度の向上、採用活動への効果を狙い導入した。

ワークライフバランスの推進 産前産後休暇、育児休暇の積極活用を男女問わず推奨している。20年6月までの1年間で出産に伴い休業した26名は100%復帰を果たしている。子育てが一段落してからの就業者も多い。

定年制度 同社では創業以来、定年制を設けず、元気であれば続けて働きたいという意欲を重視し

全国店長会&カットコンテストの入賞者たち



てきた。

現在は、資格取得可能な最低年齢の20～76歳の美容師が現場で勤務しているという。

ハタラクエールを受賞して

「今回ハタラクエールを受賞し、ロゴマークを求人広告に掲載したところ、反響があり、求人の応募が増えました」と平山さん。

特に、カットをすぐにできる即戦力者の応募が増えたという。

コロナ禍にあっても、同社は雇用を守り、福利厚生の実施に努めている。「福利厚生の充実が社員の定着率に寄与しています。人手不足に悩む業界であればこそ、福利厚生の充実が必要だと思います」（平山さん）。

連載を終えるにあたって

本連載では、「ハタラクエール2020」において「優良福利厚生法人」として認証された14法人を7回にわたって紹介しました。多種多様な業種、様々な事業規模の法人から応募を頂きました。事業構造上の制約、予算など様々な条件の下で各法人の福利厚生担当者が工夫、努力をして福利厚生を行

っていることが分かりました。

20年10月1日から「ハタラクエール2021」の応募受付が始まっています。審査を通じ一定の基準をクリアすると、福利厚生推進法人・優良福利厚生法人として認証・表彰されます。

また、すべての応募法人には、全応募法人の平均的福利厚生と応募法人の福利厚生を比較した講評が提供されます。このレポートで自社の福利厚生制度で不足している点を確認し、今後重点的に施策を実施していくことで、誰にとっても使い勝手の良い優れた福利厚生制度を構築することができます。

ハタラクエールでは、すでに優れた福利厚生を実施されている法人に加え、上記のように「これから頑張りたい」という法人を応援する役割もあります。また、ハタラクエール制度を運営する実行委員会は、福利厚生各分野のエキスパートで構成されています。実行委員各社も貴法人の福利厚生を支援することができます。ハタラクエールの応募だけではなく、福利厚生に関してお困りのことがあれば、是非事務局までご連絡下さい。

ハタラクエール2021の受賞法人が発表されましたら、改めて各社の取り組みを紹介していきます。

ハタラクエール2021(福利厚生表彰・認証制度)

ハタラクエールとは

福利厚生の充実、活用に意欲ある法人(福利厚生推進法人)の認証を行うとともに、その中から特に優れた法人(優良福利厚生法人)を表彰いたします。受賞法人には制度ロゴマークやトロフィーが授与され、日経新聞広告にて受賞法人名を告知いたします。

2020年10月1日
募集開始



応募・審査・表彰について

- 募集日程
2020年10月1日(木)から2021年1月31日(日)まで
- 応募方法
「ハタラクエール」のウェブサイト
(fukurikosei-hyosyo.com)から応募用紙をダウンロードし、記入後、事務局(株)労務研究所)に送付下さい。全ての費用は無料です。制度の詳細はHPをご覧ください。

応募受付

2020年10月1日
2021年1月31日
2020年10月1日から2021年1月31日まで応募受付(年1回実施)。

審査期間

2021年1月31日
2021年3月
●応募用紙に記入された福利厚生の実施状況をもとに(必要に応じヒアリング等)、審査委員会が中立・公正に審査。

受賞法人の発表

- 応募法人のうち、福利厚生の充実、活用に意欲のある法人を「福利厚生推進法人」として認証。
- その中から福利厚生の充実、活用に特に優れているものを「優良福利厚生法人」として表彰。
- その他、特別賞等多数を表彰。

実行委員会

株式会社イーウェル、株式会社サステナブル・プランニング、日本社宅サービス株式会社、日本生命保険相互会社、野村證券株式会社、株式会社ベネフィット・ワン、三井住友信託銀行株式会社、株式会社リロクラブ

審査委員会

審査委員長 西久保浩二(山梨大学教授)
審査委員 園田 洋一(東北福祉大学教授)
松浦 民恵(法政大学教授)
森田慎二郎(東北文化学園大学教授)